

# 竹川病院

4階病棟 主任 月田雅史

功 績 病棟師長代行としての業務遂行と室料減免率減少等へ貢献した功績。  
推 薦 者 看護部長 今木 恵子  
推 薦 理 由 看護師長不在時に滞りなく病棟運営を継続しただけでなく、室料減免率の減少や院内イベントへの積極的な介入と貢献をした為

## 内 容

2023年8月下旬～10月にかけて4階病棟師長不在時に代行業務を勤めあげた上、室料の減免率の減少等に取り組み、結果を出した功績により理事長賞へ推薦いたします。

上記期間、看護師長が管理職研修の為長期にわたり不在になるという状況において、師長代行に抜擢されたのが月田主任でした。彼は、病棟全体の運営において、竹川病院職員としての高い意識と能力で管理業務を遂行しました。

代行業務を行う前から、今後の病院運営に関して新たな意見を出し合う「未来委員会」に参画していた彼は、看護部としての状況や未来像に関して明確に意見を出す事で、委員会自体を、取組への全体像がわかりやすい有意義な場としています。その中で、減免率の増加を問題点として大変危惧しており、看護部の一管理職として解決する意思を示していました。

その後、代行業務を行う事となるのですが、自身を軸に問題解決に取り組んだ結果、2023年7月には19.9%であった減免率を、10月には7.8%まで下げる事に大きく貢献しました。

積極的かつ柔軟な姿勢で業務に取り組む姿勢は、危機管理にも現れ、緊急事態や急な変更にも的確に対応しました。インシデント報告に関しては、提出の奨励を行い、7月に21件しかなかった報告件数が10月には60%増の35件となり、報告に関する職員意識の向上が結果として見られるようになりました。

また、彼の活動は看護業務だけに留まらず、今年度のTQM活動に関しても、当院の一員として患者さんの幸せホルモン分泌に向けた活動を病院全体として取り組むべき大変重要な内容と認識し積極的に参画、看護部内の連絡・調整を適宜行い、10月に実施したイベントでは、1つの事故も発生する事なく無事終了された事に大変貢献しました。

それだけにとどまらず、患者さんの為にイベントが一過性のものにならない様、医師やリハビリテーション部等と連携しイベントの企画等を進めています。

このような卓越したリーダーシップと尽力に対し、この度の理事長賞に推薦いたします。彼の尽力は、組織において大きな価値を生んでおり、同僚や患者さんからの信頼も厚いものとなっております。